

■三條実万 公卿。博識聡明円満で国事周旋に奔走するが、天皇と幕府の間で翻弄され、憤死、“今天神”となった。
さんじょうさねつむ
膝栗毛始・・・1802＝ 内大臣公修の第三子として生まれた。母は関白一条輝良の女。

ゴロブシ拿捕 1811＝ 9歳：

黒住教・・・1814＝12歳：従三位に叙し、

水野忠成老中1818＝16歳：

・・・・・・・1820＝18歳：権中納言、

シボム鳴滝塾1824＝22歳：権大納言に進み、

シボム追放・1829＝27歳：

富嶽三十六景1831＝29歳：議奏に補された。

大塩平八郎乱1837＝35歳：

適塾オープン・ 1838＝36歳：

阿部正弘首座1845＝43歳：

孝明天皇・・・1846＝44歳：*孝明天皇の踐昨したところから外警が多事となって、

・・・・・・・1847＝45歳：

・・・・・・・1848＝46歳：武家伝奏に転じ、

この間、年頭勅使として7回江戸城に臨み、時には小禄廷臣の救済を折衝した。

ペリー来航・1853＝51歳：*勅使として徳川家定に宣旨を伝えた時、ペリー来航の外患と京都警衛の強化を老中阿部正弘と談じ、

開国開港・・・1854＝52歳：京都守護を家格相当と主張する彦根藩主井伊直弼の江戸内海警備が解かれ、宿願を果たしたことを喜び、直弼もその労を多とし、両者の関係は円満であったが、

松下村塾・・・1856＝54歳：

蕃書調所・・・1857＝55歳：内大臣に進んだ後、

五ヶ国条約・1858＝56歳：*老中堀田正睦が上京して日米修好通商条約の勅許問題、ついで將軍継嗣問題が起ると、条約勅許に反対し、また薩摩藩主島津斉彬の入説によって、内勅で一橋慶喜を継嗣とすることに奔走し、幕府支持の関白九条尚忠と対立。内大臣を罷めたが、なお朝議に参与し、直弼が大老となり、無断で条約に調印し、紀伊藩主徳川慶福を継嗣に決定すると、両者は全く疎隔した。天皇は幕府の態度に激怒して譲位を表明し、これを翻意させるために左大臣近衛忠熙・前関白鷹司政通・右大臣輔熙父子らと尽力して、戊午の密勅を水戸藩に下し、ついで九条関白を辞職に追い込んだ。このため幕府が安政の大獄を起して反対派の一掃に着手すると、外交事件の廷議に参与するのを辞し、逮捕の手が家臣に及ぶと、ついに領邑の洛南上津屋村に籠居した。しかし幕府が忠熙ら4公の処分を迫ると、

安政の大獄・1859＝57歳：*落飾を請い、さらに洛北一乗寺村に移る。天皇の庇護の力も及ばず、慎を命ぜられ、落飾。在職中に企画した18条にわたる朝廷刷新のための改革案を「旧政告新」としてまとめたが、直後に病氣危篤となって、慎を解かれ、従一位に推叙された後、没した。
明治18年京都にその祠を建て梨木神社と称し、別格官幣社に列せられた。